

岐阜県土岐市
新庁舎建設
プロジェクト

**WORKSHOP
REPORT**

2015.12.17



DAY 1
2015.12.17



DAY 2
2016.1.15



DAY 3
2016.2.9

新庁舎建設に向けて、3回にわたって市民の方と一緒にワークショップを開催しました。
第1回目は、新しい庁舎とどのように関わることができるのかを考えました。

Day 1

前半は、まずワークショップ・コミュニティデザインという用語について説明し、その後、新庁舎建設に至る経緯や基本構想、事業概要について紹介しました。続いて、新庁舎建設の背景と考え方、進め方についてをお伝えし、設計担当者より、設計にあたり大切にしているポイントについて説明しました。

PROGRAM 1

13:30~

ワークショップとは？ コミュニティデザインとは？

まず、ワークショップという用語について説明し、その後、コミュニティデザインという手法について事例を交えながら簡単に説明しました。



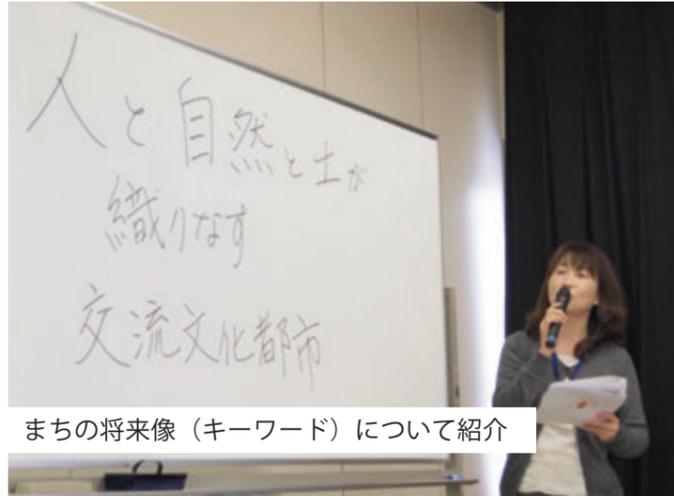
スライドを使って参加者へ説明

PROGRAM 2

13:35~

事業概要説明

続いて土岐市職員より、これまでの経緯について、そしてプロジェクトの基盤となる「新庁舎建設基本構想」について紹介しました。また、「総合計画」を用いて、まちの将来像についても合わせて紹介しました。



まちの将来像（キーワード）について紹介

PROGRAM 3

13:45~

今後の進め方 ワークショップ・設計のポイント

今回のプロジェクトの背景・考え方と進め方、ワークショップ（話し合い）のポイントについて説明しました。その後設計者より、現時点における設計のポイントについて紹介しました。



設計のポイントについて、設計担当者が説明

ワークショップのポイント

行政職員、市民、設計者それぞれが得意分野で力を発揮できる環境をつくり、よりよいデザインをめざします。



執務のプロ

基本的には行政職員が基本計画・設計内容について検討していく



生活のプロ

ただし、市民と関係する部分については、生活のプロである市民に聞く



デザインのプロ

左記の話し合いで出た意見をもとに、基本計画、そして基本設計・実施設計とデザインについて検討していく

ここでは、色や形についての意見を出すわけではなく、デザインの参考（タネ）となる、「使い方」や「関わり方」についての意見を重点的に洗い出すのがよい

設計のポイント

- 将来の人口推計（＝人口減少）などの社会情勢変化に対して柔軟性の高い庁舎デザインであること
- 文化プラザなどの既存施設をうまく活用し、無駄のない効率的な設計をめざすこと
- 市民が利用しやすいデザインとすること
 - ・窓口機能
 - ・サイン計画
 - ・市民スペースのあり方 など

Day 1

後半は、新庁舎と規模やビジョンの近い先進事例の紹介からスタート。先日の視察の様子について、写真を用いて伝えました。
その後、いよいよワークを実施。自己紹介、Yes,andを行ったあと、庁舎の新しい使い方について検討するため、「自分と庁舎の関わり方」について考えるワークに取り組みました。

PROGRAM 4

14:10～

先進事例紹介（氷見市役所）

新庁舎建設の参考事例として、先日視察に訪れた氷見市役所を紹介しました。リノベーションであるという点だけでなく、市民と行政職員の対話を重視した空間であること、そしてワンストップサービスが実現している点が特徴です。



ワンフロアの空間内に、打合せスペースが点在

PROGRAM 5

14:35～

自己紹介／Yes,and

お互いに自己紹介をしたあと、相手を否定しないコミュニケーションである「Yes,and」について学びました。No,butで受け答えをするのではなく、まず「そうですね」と相手を肯定し、「さらに～」とつなげていくコミュニケーションです。



相手を否定しないコミュニケーションを学ぶ

PROGRAM 6

14:45～

ワーク 庁舎との関わり方から考えよう！

将来、自分たちが新庁舎とどのような関わり方をすることになりそうか、「個人」「団体」「市民」という3つの切り口で考えました。ワークの最後には、各チームの代表者が内容を発表しました。
※ワーク結果については、P.5/P.6に記載



富山県氷見市

人口 49,830人（平成28年1月）
高齢化率 30.3%（平成23年10月）
面積 230.5km²

（参考）土岐市

人口 59,867人（平成27年12月）
高齢化率 30.2%（平成27年12月）
面積 116.2km²



MAP

氷見市庁舎は、高校の体育館をリノベーションしてつくった全国的にも珍しい市庁舎です。市民とのデザインワークショップを積み重ねた結果、地域協働スペースなどのある、市民参加の拠点となる開かれた庁舎が生まれています。

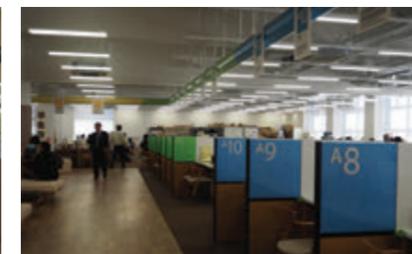
延床面積 7,026.6m²
執務用総席数 約470席
駐車場（市民） 118台
（公用車） 39台
駐輪場 2箇所
使用開始時期 2014年5月



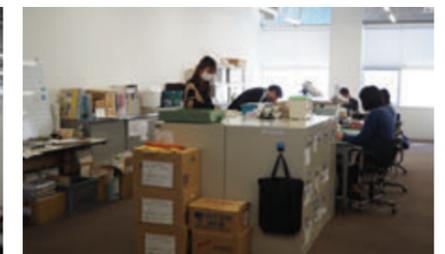
高校の体育館をリノベーション



明るく見通しのよい総合案内



上部と下部にわかりやすくサインを配置



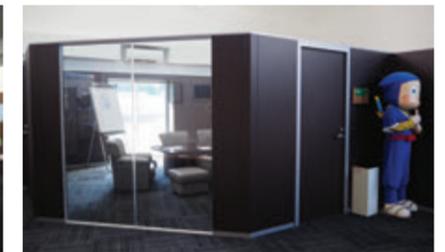
机や棚などの備品類は以前のものを利用



市民が使える地域協働スペース



木のボックス内に空調が隠されている



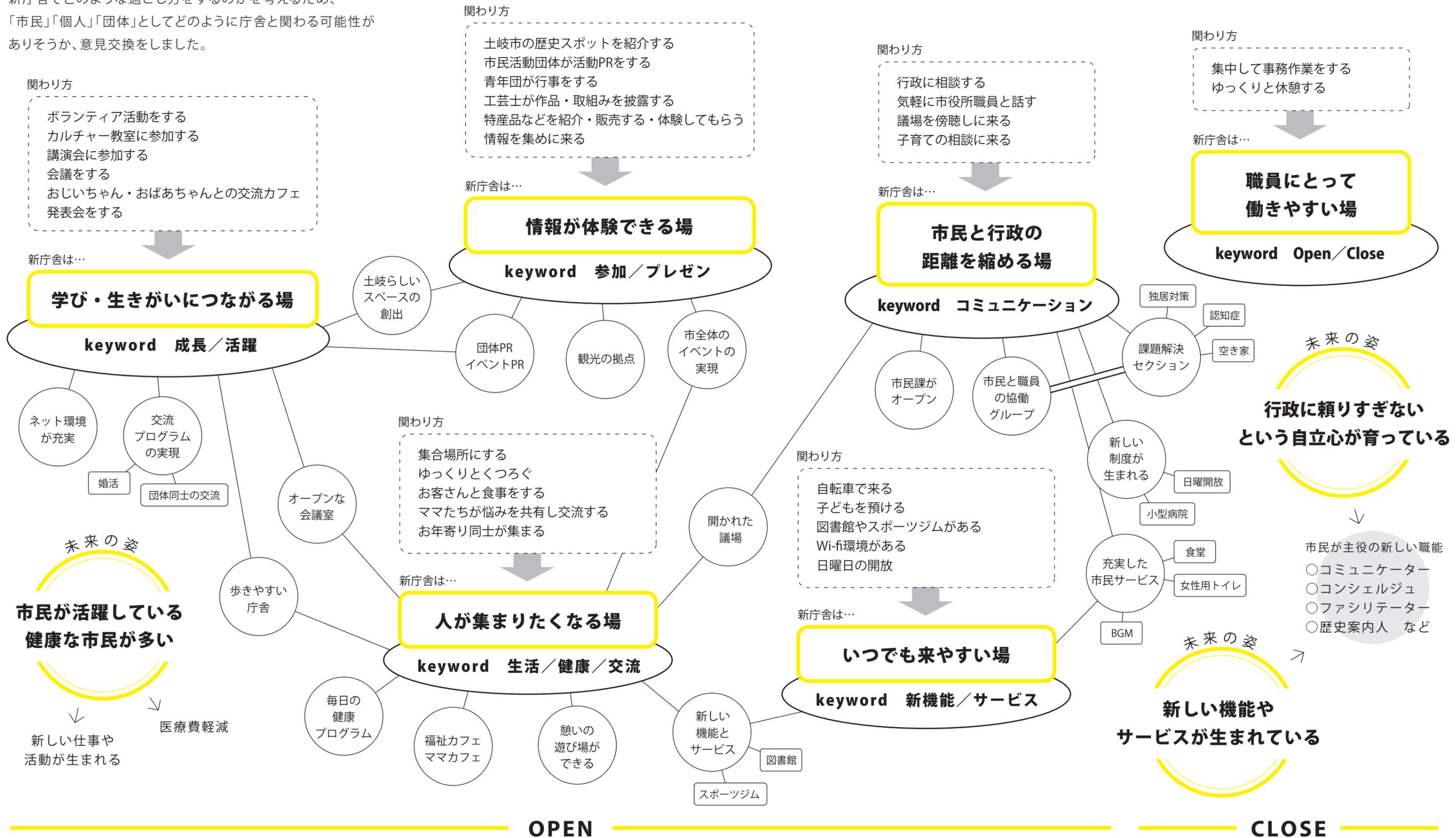
外から見ることで市長室

庁舎との関わり方から考えよう！

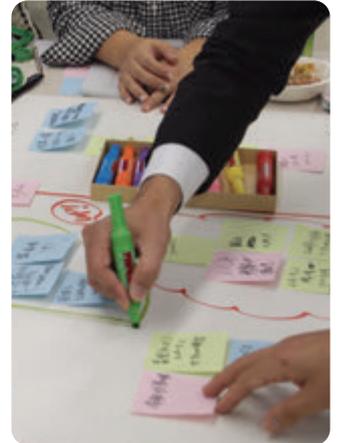
新庁舎でどのような過ごし方を考えるため、「市民」「個人」「団体」としてどのように庁舎と関わる可能性がありそうか、意見交換をしました。

- 市民がどのように新庁舎と関わる可能性があるかを記載しています。
- 新庁舎がどのような場であったらよいかを記載しています。
- 特に大切であると考えられるキーワードを記載しています。

- 将来的にこうなっていきたい、という意見を記載しています。
- より具体的な施策を記載しています。
- 土岐市の未来の姿を記載しています。



WORKSHOP PHOTO



参加者の声

やわらかい場には
やわらかい発想が生まれる
と思いました。

建物ができるまで
実感が湧かないかもしれない。
数年後を楽しみにしている。

新庁舎の話し合いに
参加できて嬉しい。

私たち職員では
考えつかないことが多く、
今後の参考になります。

大勢の立場の違う方からの
意見をまとめて活かしていきたい。

とても楽しく意見を
言うことができました。
次回も楽しく参加したいと思います。

初めての出会いが多くよかった。
こうして交流することは、
のちのちにおいても
よい刺激になりそうです。

若い方がもう少し増えると、
よりよくなると思う。